令和８年度　　手稲北小学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：27503

実態

「学ぶ力」

成　果	課　題
◇授業の中で他者と学び合いたい、みんなと一緒に考えをつくっていきたいという意識の高い子どもが育った。 ◇人の意見を聞いて、自分の考えを見直すことができる子どもが育った。 ◇友達や先生と一緒に学ぼうという気持ちが強く、学習の中で仲間を助けたり、友達の意見を参考したりして仲間を意識した学び方ができる子どもが育った。	◇自分の思っていること、感じていること、考えを発信することが必要。 ◇子どもが自分の成長を実感するために、学んだことを実感でき、これからの学習に生かせるよう、振り返りの手立てが必要。 ◇自分のおもいをもちつつ、違う考えも大切にしながら、新たな価値を見付けていく学び方が必要。

「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く　相互承認の感度 〉の現状と課題

◇令和７年度までの研究から、友達や先生と一緒に学んだり、仲間と助け合ったりしながら学習の中で追究する姿勢が見られ、学びに対する気持ちや自己肯定感の高まりが見られた。お互いを認め合いながら学習する素地はできていると考える。学習発表会や運動会などの行事の取組では、子ども同士による相互評価の場やお互いの活動を見合う場の設定を行うなどしていき、また、自らの学びを見直し挑戦していけるよう引き続き、様々な場面で個人や集団の活動を価値付ける。

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

学びを更新し続ける力

取組

課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
◇研究の重点「追究する授業」の実践 授業をしていく中で、自分の考えを強くしたり、パワーアップさせたり、違うものに変化させたり、新たなものにしたりする子を育てていくための実践をしていく。それを味わわせることで自信をもちはじめた子どもたちは、必ず次の学びへの期待と挑戦への意欲を燃やすと考え指導していく。 子どもたちが授業をする中で没頭している瞬間を 1 回でも多く捉え、それが単元を通して何度も見ることができるように学習を進めていく研究を実践していきたい。	◇スマイル～笑顔あふれる学校の創造 「笑顔あふれる学校の創造」のスローガンを児童とも共有し、児童会を中心に各学年・学級で子どもたち自身が、みんなが笑顔になれる学校をつくっていくための取組を進める。地域の方に農作物の育て方や仕事について教えてもらい、自分の生き方や生活について考える機会をもつことで学習することの大切さを感じ、自ら学びたいという意欲を醸成し日々の学びに向かっていく子どもを育てていきたい。

「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICT の活用について

◇「タイミング」と「焦点化」
学びの更新から自己の考えや行動のアップデートを図り、次の課題を捉え挑戦していけるよう、解決までの見通しをもつことや既習とのずれを明確にすることなど、より効果の高まるタイミングでの ICT の活用が不可欠と考える。また、自分や他者の考えの視覚化、共有化を図り、学びを深めていく。

＜本プログラムの実行に向けて＞

新年度　◇本プログラム共有	〔一人一人の教職員〕	〔学校全体〕	次年度へ
・職員会議（4 月 15 日） ・研究全体会（5 月 18 日）	◇日常の授業改善・教育活動 ◇各自の研修…札教研、年次研修等	◇実践交流（協力者）/校内研修・部内研・全校研 ◇子どもの育ちを共有・学年研修・生徒指導交流会	◇学校評価 ◇成果と課題の共有 ・研究全体会（3 月 16 日）